

# 科学・技術政策の最近の動き

総合科学技術会議議員

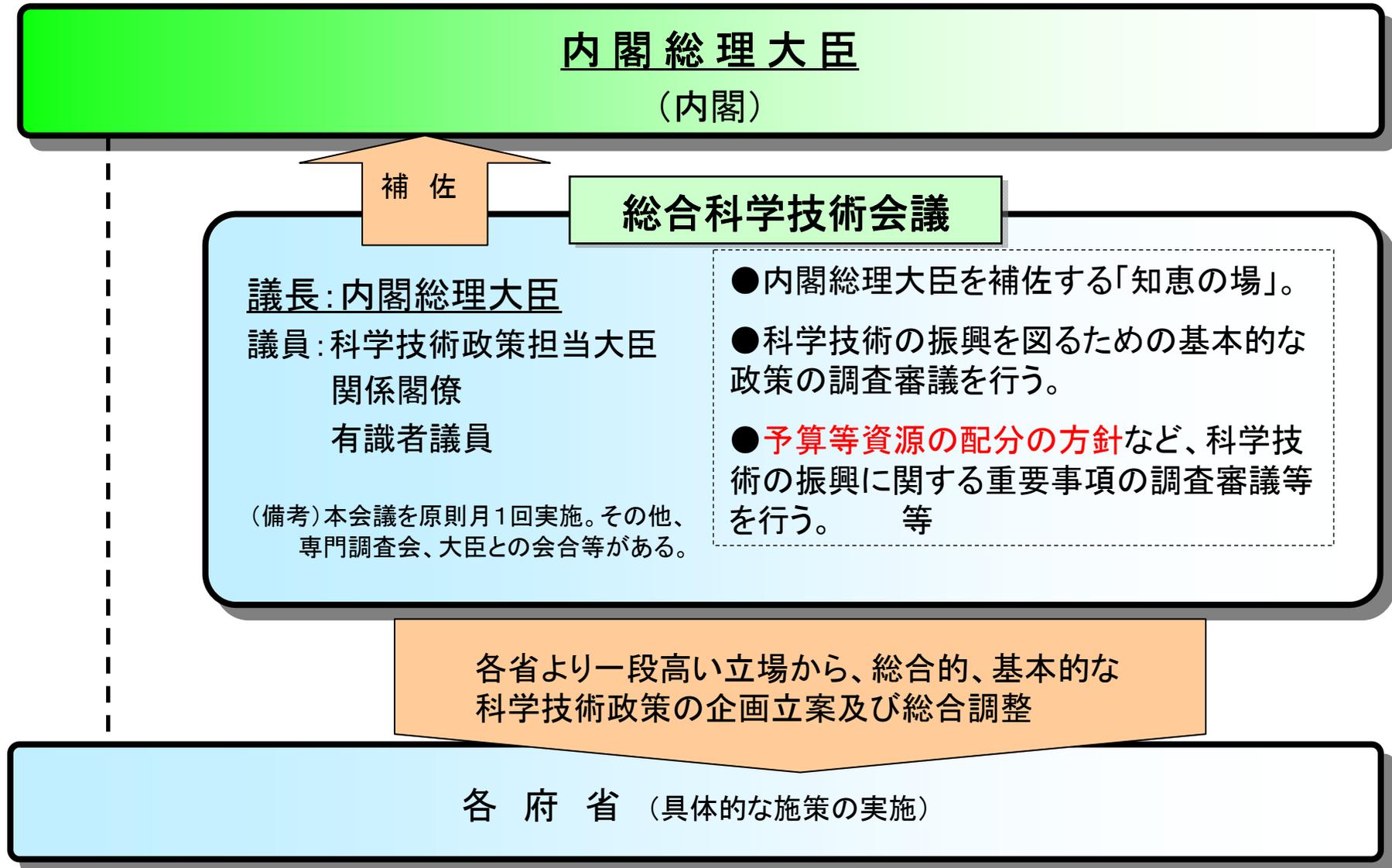
相澤益男

平成22年3月20日

科学・技術政策について地域からご意見を聞く会（大阪開催）

# 1. 総合科学技術会議について

## (1) 機能と役割



# 1. 総合科学技術会議について

## (2) 構成員

### 議長

内閣総理大臣  
鳩山由紀夫



内閣官房長官  
平野博文



科学技術政策担当大臣  
文部科学大臣  
川端達夫



総務大臣  
原口一博



財務大臣  
菅直人



経済産業大臣  
直嶋正行



### 有識者議員

相澤益男  
(常勤)

元東京工業大学学長



本庶佑  
(常勤)

元京都大学医学研究  
科長・医学部長



奥村直樹  
(常勤)

元新日本製鐵(株)  
代表取締役副社長



白石隆  
(常勤)

元政策大学院大学  
教授・副学長



今榮東洋子  
(非常勤)

名古屋大学名誉教授



青木玲子  
(非常勤)

一橋大学経済研究  
所教授



中鉢良治  
(非常勤)

ソニー(株)取締役  
代表執行役副会長



[関係行政機関の長]

金澤一郎  
(非常勤)

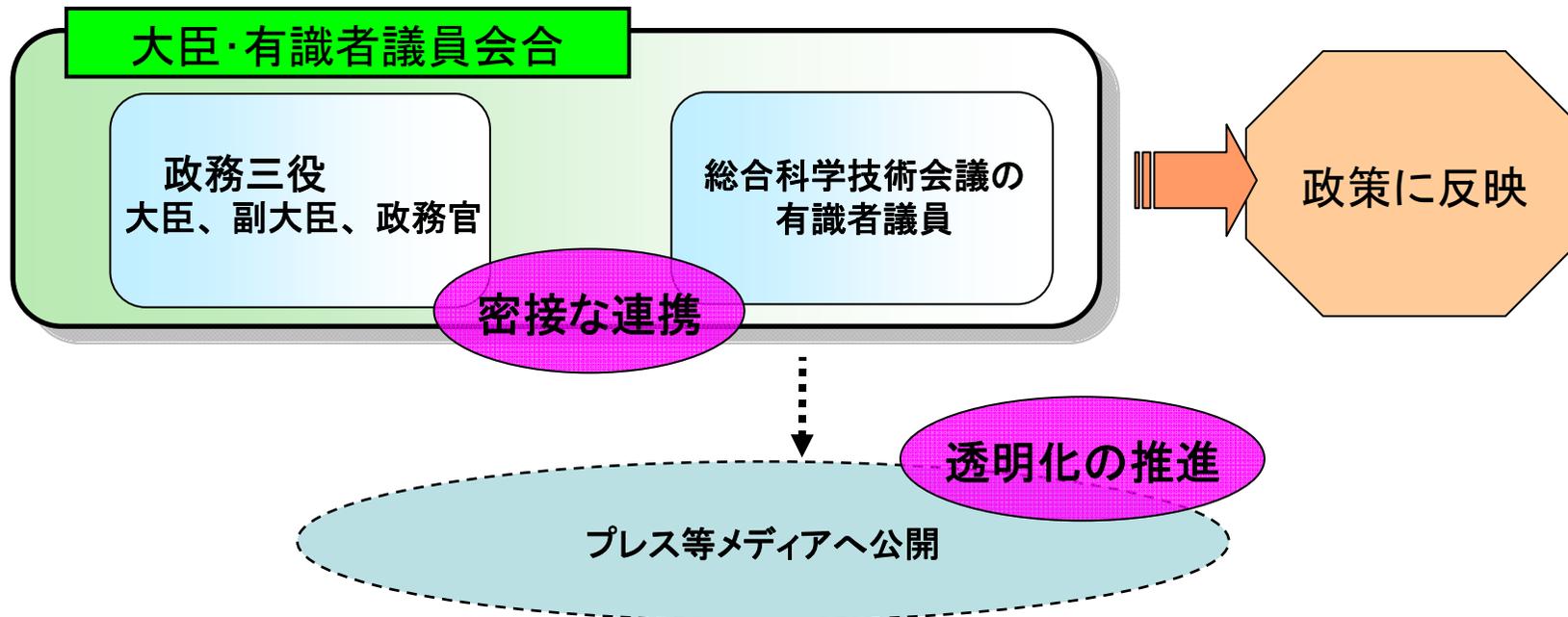
日本学術会議会長



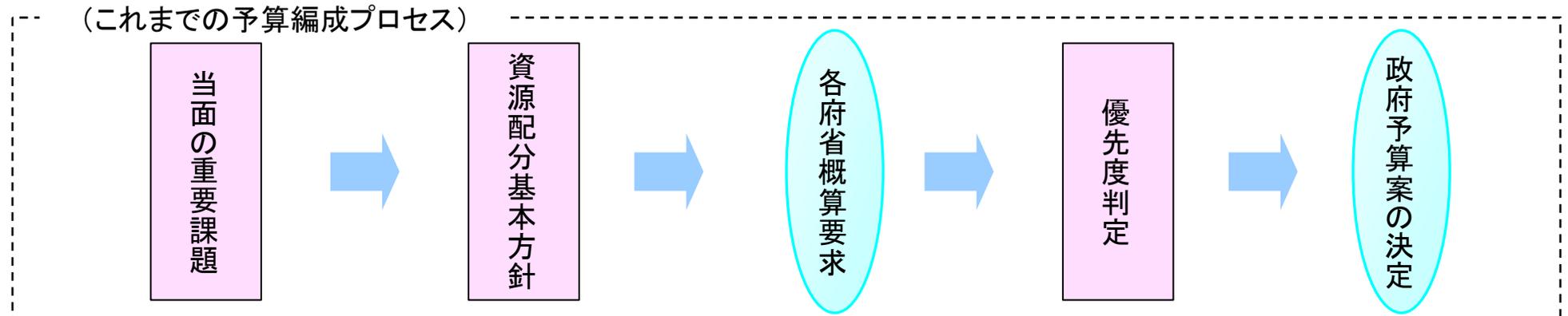
# 1. 総合科学技術会議について

## (3) 政務三役との関係、透明化の推進

- 科学技術政策担当大臣と有識者議員との会合(大臣・有識者議員会合)を週一回開催
  - 川端大臣、古川副大臣、津村政務官(政務三役)の会議出席により、**政務三役と有識者議員との密接な連携**
- 大臣・有識者議員会合のプレス等への公開
  - 政策決定プロセスの透明化の推進

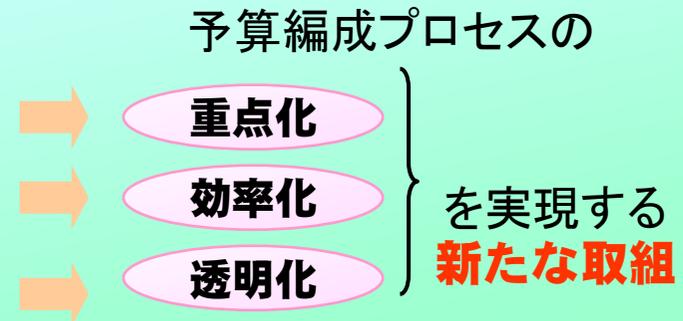


## 2. 新しい取組 新しい科学・技術予算編成プロセス①



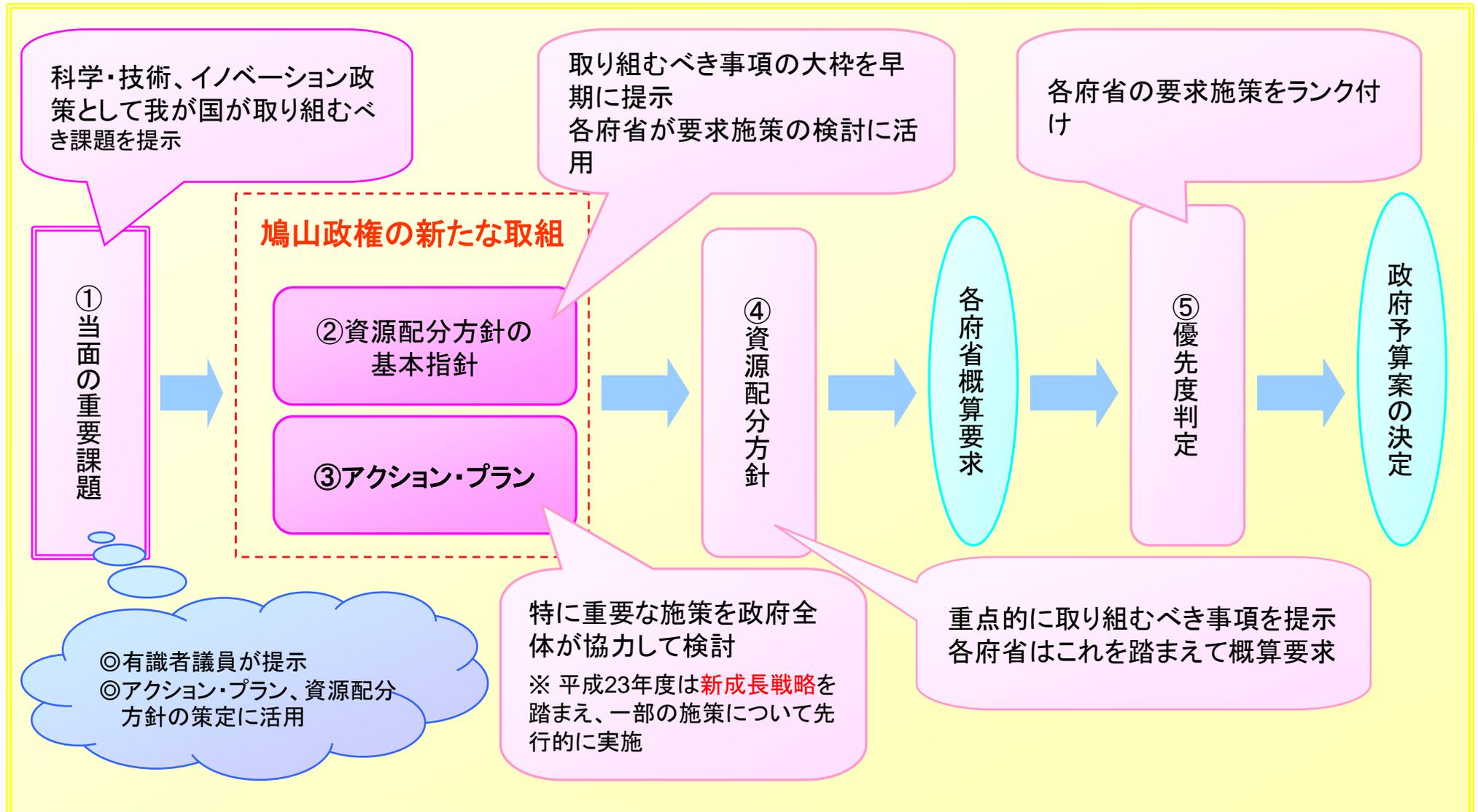
### ◎新しい科学・技術予算編成プロセスの効果

- 課題解決に特に重要な施策を各府省に提示
- 各府省連携の推進と予算要求の重複排除
- 議論の公開やパブリックコメントを実施



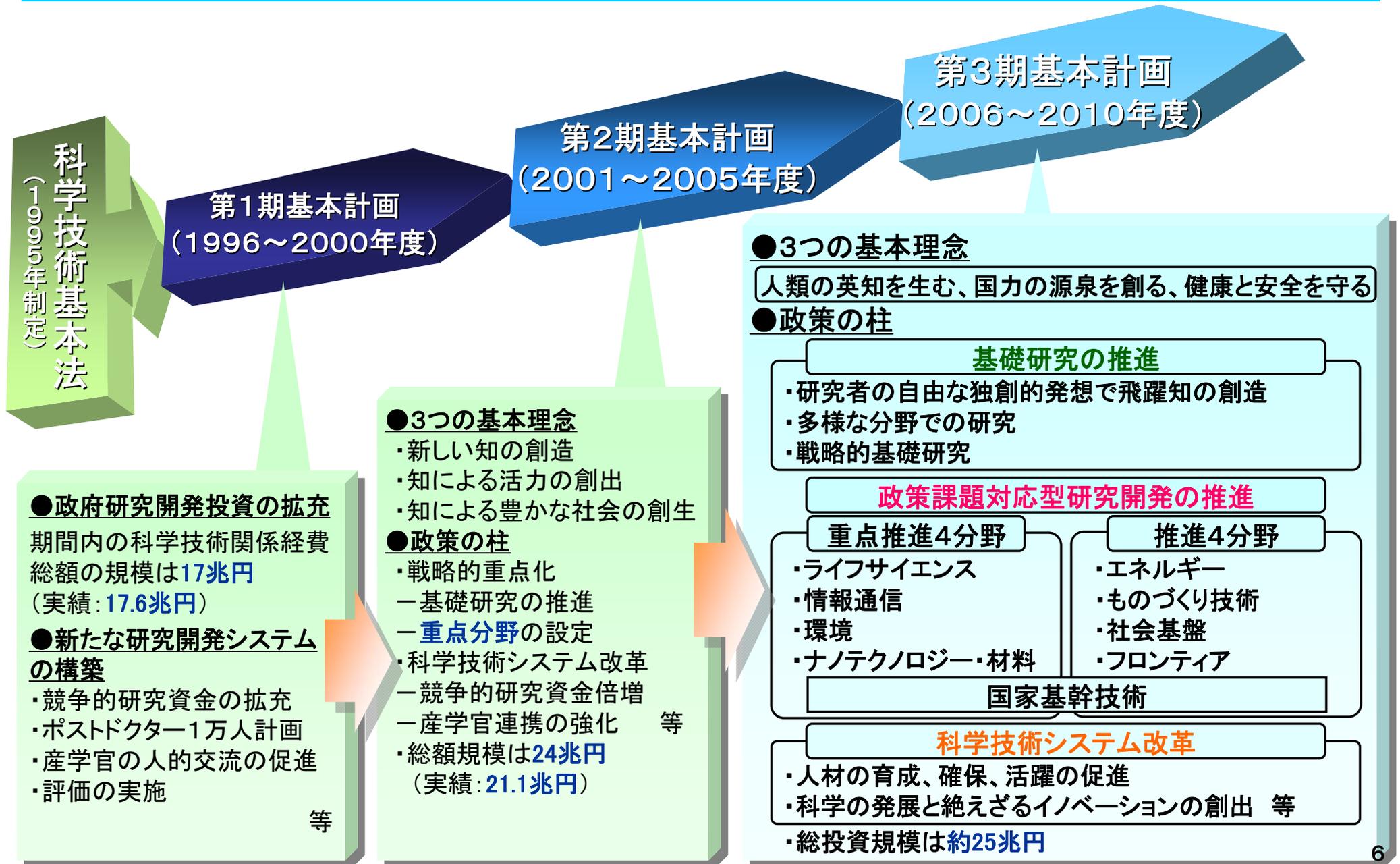
課題解決に有効な質の高い科学・技術予算の実現

## 2. 新しい取組 新しい科学・技術予算編成プロセス②



# 3. 科学技術基本計画

## (1) 科学技術基本法と科学技術基本計画



# 3. 科学技術基本計画

## (2) これまでの科学技術基本計画の実績と課題

### 基礎研究の推進

論文数及び論文被引用度の各国順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位
論文数						
論文被引用度						

※2007年実績

### 日本人ノーベル賞受賞者数

2000年以降、8名受賞

### 基礎研究の成果事例

**ヒトiPS細胞作製**  
ヒトの皮膚細胞  
Oct3/4  
Sox2  
Klf4  
C-Myc  
4つの遺伝子を導入  
細胞(ヒト人工多能性幹細胞)を樹立  
種々な組織の細胞に分化

**鉄系超伝導物質の発見**  
La-O layer  
Fe-As layer

○諸外国も力を入れる中、質向上が課題。

○基礎研究で世界に伍していくには、全体的に研究の質を高め、新たな芽の創出や、国際的に芽の出た研究を更に伸ばすための取組が必要。

### 政策課題対応型研究開発の推進

#### 戦略重点科学技術の成果事例

#### 世界トップレベルの革新的技術

地球温暖化対策  
高効率太陽光発電  
水素エネルギー

高度画像  
3次元映像

産業の国際競争力強化

知能ロボット  
生活支援ロボット

健康な社会構築

日本と世界の安全保障

希少資源対策  
レアメタル代替材料・回収

創薬  
感染症ワクチン

食料生産  
マグロの養殖等

…等

#### 国家基幹技術

##### 宇宙輸送システム



H-IIAロケット

##### 海洋地球観測探査システム

##### 高速増殖炉サイクル技術

##### X線自由電子レーザー

##### 次世代スーパーコンピュータ

##### 月周回衛星「かぐや」 日本実験棟「きぼう」

##### 緊急地震速報の提供開始

○科学・技術の発展が課題の解決に必ずしもつながっていなかった。

○国として取り組むべき大きな課題を設定し、その解決・実現に向けた戦略を策定する中で研究開発課題を設定することが必要。

### 科学技術システム改革

#### 人材の育成、確保、活躍の促進

- ◇若手研究者の活躍促進
- ◇女性研究者の活躍促進

#### 科学の発展と絶えざるイノベーションの創出

- ◇競争的資金の拡充
- ◇制度・運用上の隘路の解消
- ◇大学等の競争力の強化
  - ・グローバルCOEプログラム
  - ・世界トップレベル研究拠点形成
  - ・先端融合領域イノベーション創出拠点の形成
- ◇地域イノベーションシステムの構築
  - ・知的クラスター、産業クラスターの形成
- ◇知的財産の創造・保護・活用

- 若手研究者が将来展望を描きにくくなっている。
- 基礎的な科学・技術力をイノベーションまで十分つなげられていない。

○若い世代が生き生きと活躍し、未来を切り拓いていけるような環境が必要。

○強みを活かしてイノベーションを効率的に生み出す仕組みの構築が必要。

### 3. 科学技術基本計画

#### (3) 第4期科学技術基本計画策定に向けた検討

○本年6月頃の基本方針案のとりまとめを目指し、第5回基本政策専門調査会(2月23日)から第4期科学技術基本計画の骨子について議論を開始し、引き続き検討を進める。

#### 第4期科学技術基本計画骨子(素案)～第5回基本政策専門調査会資料から抜粋～

##### 基本計画について

##### 成長を牽引する課題解決型イノベーション

- **グリーン・イノベーション**で  
環境・エネルギー大国を目指す
- **ライフ・イノベーション**で  
健康大国を目指す

##### 日本の強みを活かすイノベーションの推進

- **革新的な基盤技術**
- **国家基幹・安全保障技術**

##### 我が国の基礎体力強化

- **基礎研究**の抜本的強化
- 科学・技術を担う**人財**の強化
- 世界の活力と一体化する**国際展開**

##### 科学・技術・イノベーション促進のためのシステム改革

- 研究開発システムの改革とPDCAサイクル
- **科学・技術コミュニケーション**と次世代**人財**の育成
- 研究開発投資の強化

## 4. 最先端研究開発支援プログラムについて

プログラム予算合計1,500億円

### 30課題 [1,000億円]

#### 対象者

我が国の代表的研究者若しくはそれが期待される研究者

#### 対象課題

3～5年間で世界をリードし、世界のトップを目指す先端的研究課題

#### 経過

平成21年9月4日

565件の応募から、30課題を選定

平成22年3月9日

各課題の配分額などを決定

例 大阪大学 審良教授  
京都大学 山中教授  
島津製作所 田中フェロー

### 若手・女性研究者への支援[500億円]

#### 対象者

将来、世界の科学・技術をリードすることが期待される、若手・女性・地域の研究者

#### 対象課題

グリーン・イノベーション

ライフ・イノベーション

を推進する、人文・社会科学を含めた挑戦的な研究課題を幅広く対象(上限:4年間で2億円)

#### 今後の予定

3月中に公募開始予定

(その後、選定作業、総合科学技術会議で採択課題決定。)